

## P-57 下顎乳切歯へのストロー様異物嵌入の除去後に同様事故防止の啓発活動をおこなった1例

A case of a Plastic Straw Impacted a Tooth and Accident Prevention Activities on Social Media

○佐々木明彦 エンゼル歯科(神奈川県平塚市) Akihiko Sasaki Angel Dental Clinic(Hiratsuka-shi Kanagawa prefecture)

### 【目的】

ストローやそれに類する円筒状の異物が低年齢児の乳前歯に嵌入する事故は過去に多数の報告例があり、長期間放置されると歯槽骨吸収等の健康被害を引き起こす<sup>1)</sup>ことは日本小児歯科学会員には以前からよく知られている。

過去には小児歯科専門医のグループによる事故防止活動がなされ、飲料メーカーに要請してストローにストライプ模様を入れる対策を実現した啓発活動(アドボカシー)の好例がある<sup>2)</sup>が、一般の歯科医師や保育者、保護者のこの種の事故に関する認知度はまだ低いと思われる。

今回、複数の歯科医師の診察機会があったにもかかわらず、3歳児健診で発表者が指摘するまで異物が嵌入したまま2年近くが経過した症例に遭遇した。後日診療所で異物の除去と暫間固定処置をおこない、加えて Twitter 等の SNS を通じた啓発活動を試みて一定の成果を得たので報告し、同様事故の早期対応、防止に役立てることを目的とする。

### 【症例】

初診時年齢3歳2か月の女児。1歳6か月児健診より前に保護者が下顎前歯部の異常に気づき、歯科医院を受診したが経過観察となった。その後、1歳6か月児健診を受診したが健診記録には「下顎右側乳中切歯については歯科医院で経過観察中」とあるも看過された。さらに上記とは別の歯科医院も受診したが診断には至らず、令和元年10月10日に発表者が担当した3歳児健診において初めてストロー様異物が下顎右側乳中切歯に嵌入していることが判明した。

### 【治療及び経過】

10月16日、発表者の診療所を受診したので診査及びエックス線撮影を実施した。歯の動揺度は2度で、歯頸部付近にわずかに見える程度まで飲用プラスチックストローと思われる白色円筒状異物が歯肉縁下深くまで嵌入していた。(図-2)

異物を切断して除去後、TWISTED WIRE 及び G-フィックスによる暫間固定(図-3)を実施。同時に保護者の同意を得て処置中の写真、動画の撮影をおこなった。

この際得られた画像、映像を同様事故への早期対応や再発防止のための啓発活動及び本発表に使用することについて保護者の了解を得た。



図-2 除去したストロー様異物の写真



図-3 暫間固定時の写真

### 【結果】

その後は概ね2週間ごとに経過観察を続けた。令和2年1月7日にエックス線撮影をおこなったが歯槽骨の回復はわずかであった。1月21日来院時に固定が外れていたが、動揺度1度となっていたので残存したG-フィックスを除去し、暫間固定を終了とした。3月18日まで経過観察をしたが、わずかな動揺と挺出がみられるものの歯冠変色は認めず、歯として機能している状況を得られた。

初診時に撮影した写真、動画を令和元年10月18日から Twitter、YouTube、ブログで公開したところ多くの方々から反響をいただき、特に Twitter に投稿した短い動画は3か月間で6万回以上再生された。令和2年1月7日には下顎左側乳中切歯に1週間ほどストロー様異物が嵌入した遠隔地の1歳3か月児の母親から、Twitter を見て状況を理解し歯科医院で除去したと画像を伴う連絡があった。少なくとも1件の早期対応に寄与できたことになる。

このような事故が起こり得ること、写真や動画を一度でも見れば理解されやすく早期に対応すれば健康への影響は少ないことを、歯科医療関係者だけでなく広く一般の保育者や保護者が認知する一助となったと思われる。

左から Twitter、YouTube、ブログの QR コードを示す。



### 【考察】

歯科医師全体から見れば小さなグループである学会の中ではよく知られた事象であっても、一般の歯科医師には情報は届きにくい。今回用いた SNS には功罪あり危険性もはらむが、多数の人に視覚的に伝達する効果は高く、学会員以外の歯科医師への情報発信や一般への啓発活動に有効な場合があると考察する。

### 【文献】

- 1) 水谷智宏, 他: 下顎乳中切歯歯頸部にストロー様異物を認めた1例, 小児歯誌, 45: 639-644, 2007.
- 2) 佐々木洋, 他: 今日からできるアドボカシー, 小児歯科臨床, 第10巻第10号, 2005.

公社)日本小児歯科学会 第58回 学術大会利益相反(COI)開示  
令和2年6月1日 発表者氏名:佐々木明彦  
本演題に関して発表者の開示すべき利益相反はありません



図1 初診時の写真とデンタルエックス線写真